



# みんなで進める「コミュニティ・スクール」と「教育振興運動」

～ 地域や学校の実態に応じて、より適切で効果的な連携を進めるために（※1）～



実践編  
(H29.5 作成)

## H29 重点

- 岩手県が進めてきた「教育振興運動」と「いわて型コミュニティ・スクール」の検証
- 岩手県がこれから進める地域学校連携の在り方の検討と周知
- 地域学校連携に関する事例収集と情報発信

- ① 教育事務所説明会の開催（指導主事と社会教育主事の情報共有）
- ② 各学校等が推進する際の支援の展開
- ③ 推進フォーラムの開催（平成29年11月7日（火） アイーナ 13:00～）
- ④ 社会教育施設有効活用の推進

## H29 事業

市町村や教育委員会、地域の団体等主体

## 教育振興運動

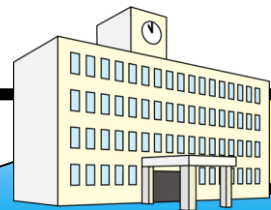
地域の教育力の向上のために

### Point

これまでの取組が5者（子供、家庭、学校、地域、行政）の深いかわりによるものになっているかなど、「相互の連携」の視点で振り返り、より適切で効果的な連携を進める取組となるよう、必要に応じて改善を図ります。

### 《改善の視点》

- 5者が、相互に目標やビジョン、達成のための具体的な方法、改善策等を考え共有する機会（場）をつくる。
- 5者が、相互に当事者意識をもって取組に参画できるように、教育振興運動の総会等、既存の取組やしぐみが効果的かどうかを検討しながら実践する。
- 5者が、取組の成果や課題を見える形で整理し、次の活動の重点や改善策につなげる。



視点 E-ア；  
相互のニーズ把握

## 地域（家庭）・学校みんなが仕組みや方策を共有して進める連携

## 指導主事（主に学校支援）・社会教育主事（主に地域支援）等による協働支援

（教育事務所・教育委員会・生涯学習推進センター・総合教育センター・教育振興運動の推進組織・地域学校協働本部等）



## 地域学校協働活動 ※3

「コミュニティ・スクール」と「教育振興運動」の充実のために

### Point

地域学校協働活動は、「教育振興運動」や「コミュニティ・スクール」を支える（一体的な推進を含む）なくてはならない活動です。  
地域と学校が、より適切で効果的な連携を進めるために、具体的な取組方を考えていきます。

学校主体

## コミュニティ・スクール ※2

地域とともにある学校づくりのために

### Point

これまでの取組が地域を巻き込んだものになっているかなど、「地域との連携」の視点で振り返り、より適切で効果的な連携を進める取組となるよう、必要に応じて改善を図ります。

### 《改善の視点》

- 学校が地域と目標やビジョン、達成のための具体的な方法、改善策等を考え共有する機会（場）をつくる。
- 授業や学校行事等をより充実させるために、地域人材・資源活用等、既存の取組やしぐみ等が、目標やビジョン実現のために効果的かどうかを検討しながら実践する。
- より検証しやすいまなびフェストの設定に努め、明らかになった成果や課題を見える形で示し、地域と共有する。



視点 E-ア；相互のニーズ把握

※1：県内では、小・中学校及び義務教育学校のみならず、市町村によっては、幼稚園や高等学校においても地域学校連携の趣旨を踏まえた取組が進められています。

※2：これまで岩手で推進してきた「いわて型コミュニティ・スクール」と文部科学省が進める「コミュニティ・スクール」の両方を意味します。

※3：「地域学校協働活動」とは、登下校指導、校庭整備、各教科の学習支援、地域の資源回収、地域伝統行事への参加等、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。教育振興運動の内容もこれにあたります。これらの活動は、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指しています。